

大湊サイバー防護隊



Cyber protection Center Ominato

大湊サイバー防護隊 司令ご挨拶



大湊サイバー防護隊のホームページをご覧ください、ありがとうございます。
令和8年3月に大湊サイバー防護隊司令を拝命しました山本と申します。

当隊は本州最北端の青森県むつ市に所在するほか、八戸に分遣隊を北海道の函館、余市、稚内のそれぞれに運用所を有し、日夜、サイバー空間の維持と防護に努めています。

当隊の本部は山と海に囲まれた自然豊かなむつ市の大湊基地内に所在しており、冬には釜臥山でのウィンタースポーツが盛んなほか、下北ジオパークとして、海に面した人々の生活と自然、大地を総合的に体感できる自然と歴史が豊かな場所に位置しています。

大湊サイバー防護隊は、所掌するサイバー空間を維持、防護するほか、大湊地区隊をはじめとして地区所在部隊に対して通信支援及び機能提供を実施する等、隊員一丸となって、日々業務に励んでいます。

特に、サイバー及び通信分野の日進月歩は目まぐるしく、隊員は常に向上心を持って新しい知識・技能の習得に努めています。また、サイバー空間を維持、防護し、部隊の指揮統制に必要不可欠な通信機能を24時間365日提供し続けることが、我々の誇りでもあります。

大湊、北海道地区のサイバー空間を担う部隊としてまた、良きむつ市民、函館市民、余市町民、稚内市民として引き続き与えられた任務に邁進して参りますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

任務

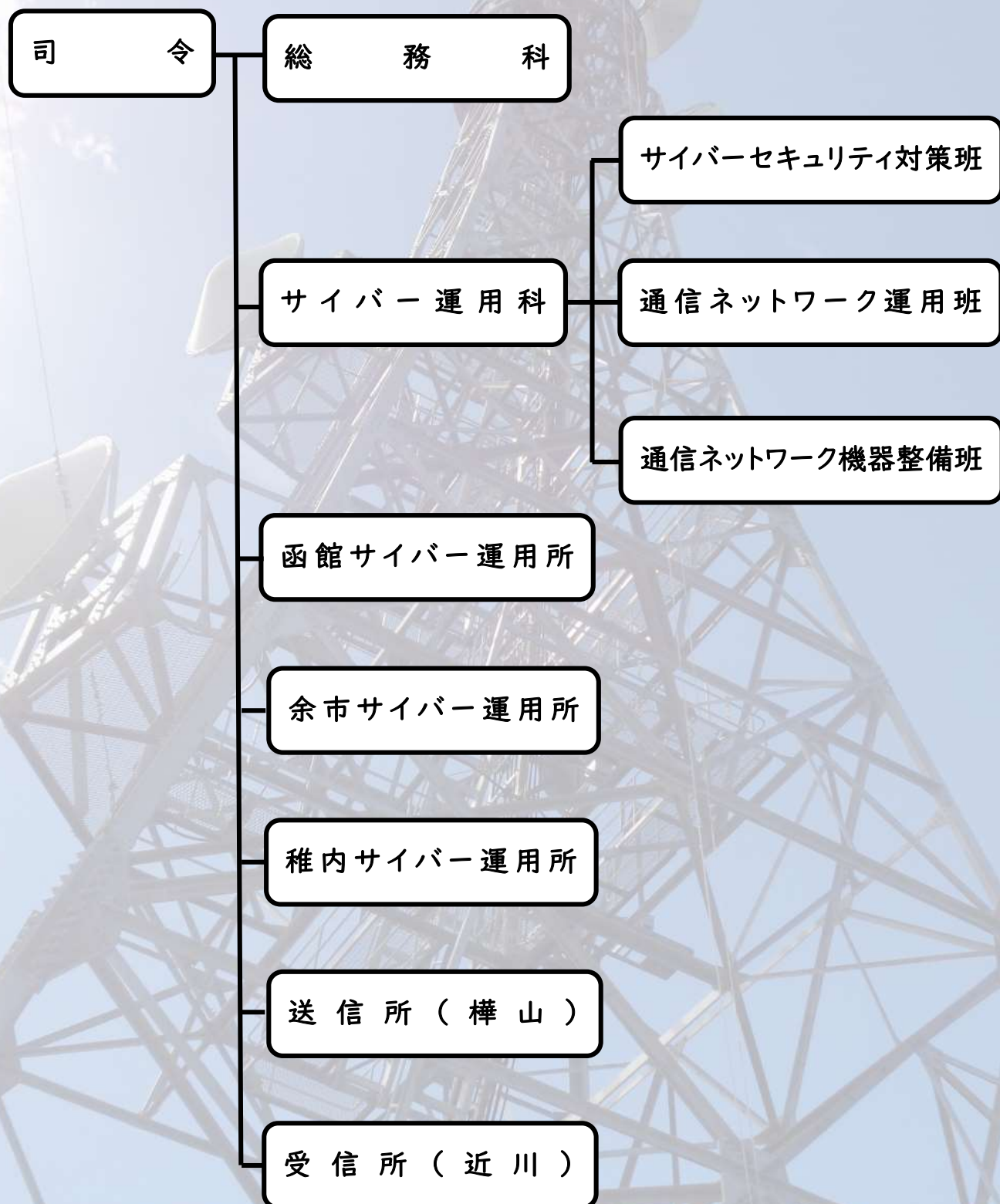
サイバー防護隊は、海上自衛隊におけるサイバー空間の防護及び指揮統制機能の確保のため、次の各号に掲げる業務を行うことを任務とする。

- (1) 情報保証の確保に関すること。
- (2) 通信実施の統制、通信制限及び通信監査に関すること。
- (3) 通信及び電波使用の計画及び監理に関すること。
- (4) 海上自衛隊の部隊及び機関が行う通信の支援に関すること。
- (5) 前各号に掲げる業務に必要な調査及び研究に関すること。

サイバー防護隊の編成に関する訓令
(令和8年海上自衛隊訓令第16号)

第1条より

編成



所在地



- 大湊サイバー防護隊新編 1
- ロゴマーク紹介 1
- 山本新司令着任 2
- 地域清掃活動への参加 2
- 下北駅伝競走大会への参加 3

大サ防通信

【大湊サイバー防護隊】

〒035-8511
青森県むつ市大湊町4-1
大湊サイバー防護隊
☎0175-24-1111

1/3



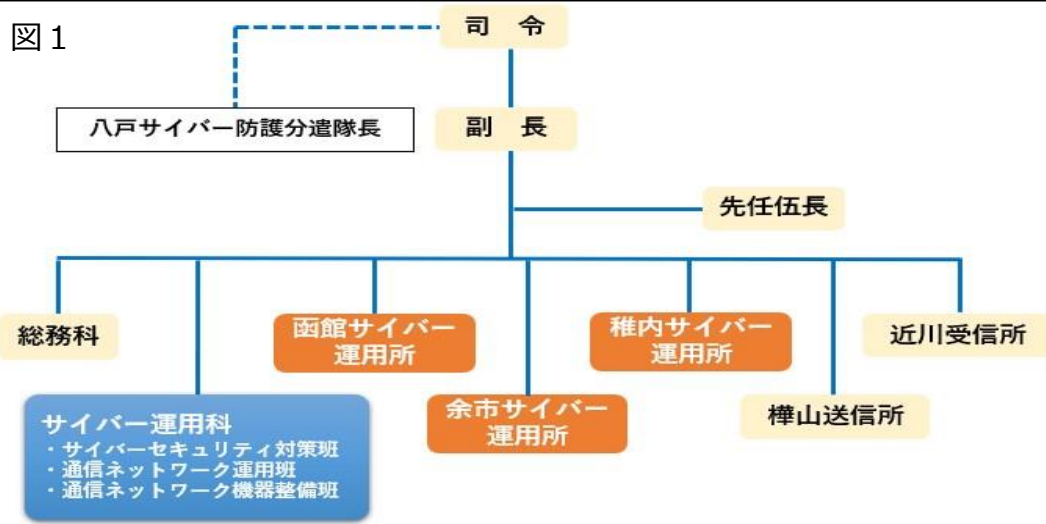
上写真は、大湊サイバー防護隊の看板に架け替えを記念したもの。
右から、山本司令、東前任伍長

上写真は、「OCC」の形です。
大湊サイバー防護隊の英語表記
CyberProtection Center Ominato
の略称です。

令和8年3月23日、大湊システム通信隊が解隊となり、大湊サイバー防護隊が新編されました。大湊サイバー防護隊は、運用科と整備科を統合しサイバー運用科へ、函館基地隊、余市防備隊及び稚内基地分遣隊の通信所が大湊サイバー防護隊にそれぞれサイバー運用所として編入し、2つの科、5つの所での編成となりました。（図1を参照）

大湊サイバー防護隊新編

図1



大湊サイバー防護隊の組織図

大湊サイバー防護隊新ロゴマークの紹介

令和6年11月から令和7年5月までの約7カ月をかけ、前身である大湊システム通信隊と八戸システム通信分遣隊のメンバーでロゴマークについて検討を重ねました。ロゴマークのデザインを隊員が実施し、複数件候補が集まりましたが、公平な審査の結果、右図のロゴマークが採用されました。
ロゴマークの意味は、以下のとおりです。

大サ防各部隊を意味する5枚（大湊、函館、余市、稚内、八戸の5箇所）の大きな翼は、古来より通信の象徴とされていた鳥類を意味するとともに、「力強く未来へ飛躍する」というイメージから、生まれ変わる部隊の門出と成長を象徴する。

背景は、大湊の「大」を模っており、中心に据える渦状の縄文文様と、その周りを取り囲む線は、北海道および北東北の地域性、宇宙への関心や人々のつながりといった意味を内包している。

また、翼と縄文文様を組み合わせた独自のモチーフとして「縄文鳥」を考案した。縄文鳥には「雪国」と「誠実性」を表す白、背景には「伝統」と「宇宙・サイバー空間」を表す藍をそれぞれ配色することで、縄文鳥が新領域を飛び回り、部隊同士が密接に連携しながら、今後変革する多種多様な業務に挑戦する様を表現する。



山本新司令着任

令和8年3月23日、大湊サイバー防護隊新編同日に、2等海佐 山本 寛が着任しました。前所属は、東京都市ヶ谷のシステム通信隊群司令部（現サイバー防護群司令部）から、着任しました。指揮官が着任の際には必ず訓示を行い、隊員に対して心構えや指導方針、部隊の進むべき方向性を示します。大湊から離れている、函館、余市、稚内サイバー運用所の隊員は、オンラインで訓示を受けました。



訓示を函館、余市、稚内サイバー運用所へオンライン中継



山本司令訓示



山本司令を出迎え

地域清掃活動に積極的参加

むつ市のある下北地方は、日本ジオパークネットワークへ加盟しており、2016年9月に初めて下北ジオパークに認定され、2021年、2025年に再認定されており、2025年に再認定されています。むつ下北は、地域を挙げて下北ジオパークを維持、発展させようと頑張っており、海上自衛隊としてもむつ市と大湊地区隊がパートナーシップを締結し、私たち大湊サイバー防護隊としても、有志とその家族がこの地域の活動に協力しております。

この下北ジオパークの目的は、「郷土愛の醸成」「地域の価値の向上」であり、活動としては「地域学習」「地域振興」「研究活動」等があり、「環境保全活動」もその一環です。このような活動は、やってみれば、みんなから感謝されたり、自己肯定感を高めることができたり、達成感を感じられたり、良いことばかりです。

ジオパークってなに？

ジオパークは、歴史と現代社会における地域の地質遺産の重要性について意識を高めることで、地域住民が自分たちの地域に誇りを持ち、地域と住民の一体感を強化します。地域の地質資源を保護しながら、ジオツーリズムを通じて新たな収入源を生み出し、革新的な地元企業や新しい雇用、質の高い研修の機会を創出します。

我々大湊サイバー防護隊は、今年に入り、大畑さくらロード清掃を皮切りに、中野沢海岸清掃、釜臥山清掃登山に参加しております。

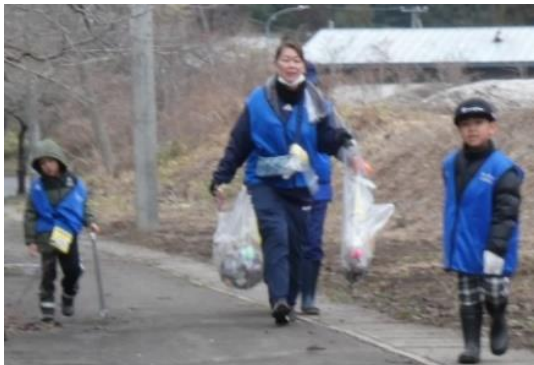
一方、大湊だけではなく、北海道に所在するサイバー運用所においても同様に、地域の活動に積極的に参加し、地域に貢献しております。



大畑さくらロード清掃の集合写真



中野沢海岸清掃の集合写真



大畑さくらロード清掃の様子



釜臥山清掃登山の様子（左）と集合写真（右）



中野沢海岸清掃の様子



下北駅伝競走大会へ参加

いよいよスタート!!



1区スタート直前



1区 サ運科 NW機器整備班 坪井士長

メンバー中最年少



1区から2区への襷リレー



4区 前任伍長 東曹長

憲法駅伝出場回数は、両手では足りません。



3区 送信所 齊藤3曹

実家が火、まだまだ若手です。



2区から3区への襷リレー

奇跡! 宙に浮いてる二人!



2区 総務科 加藤2曹

新米パバ



5区 受信所 中村3曹

大サ防と風間浦のエースランナー

ゴール!



6区 サ運科 NW機器整備班 鳴海2曹

富士山を走ったダメージが残る
中での疾走

4月29日「昭和の日」、むつ市ウエルネスパーク周辺を会場に第78回憲法記念下北駅伝競走大会が開催され、当隊からも健脚自慢の隊員6名が出場しました。「大湊システム通信隊」チームからの襷を受け取り、「大湊サイバー防護隊」チームとして参加しました。「大湊通信隊」「大湊システム通信隊」そして「大湊サイバー防護隊」へと、部隊名称は変われど、往年の先輩方の継続出場し作り上げた伝統は、現在も引き継がれております。



自衛官募集

現在、政府予想を遥かに超えるスピードで少子高齢化が進み、その影響は各分野に及んでおります。防衛省・自衛隊も例外ではなく、私たちの職場においても、入隊者の大幅な減少に伴い、隊員一人の負担が増大しております。業務効率化を図り、勤務状況の改善を進めてもなお、優秀な人材を確保するのが困難な状況になりつつあります。そこで長年、ご子息ご息女を遠くから支えて戴いてるご家族のご親戚・ご近所のお知り合い等で、自衛隊に興味をお持ちの方がおりましたら、**ご子息ご息女・お近くの地方協力本部（募集事務所）に「こういう人がいるので話を聞きたい」とお話下されば幸いです。**何卒よろしくお願い申し上げます。

※採用年齢が引き上げになり18歳から32歳未満になりました。

